

令和5年第2回三重県議会定例会
医療保健子ども福祉病院常任委員会

説明資料

	頁
【所管事項説明】	
1 三重県病院事業 次期「中期経営計画」の中間案について	1

別冊：三重県病院事業 中期経営計画（令和6年度～令和9年度）《中間案》

令和5年12月13日
病院事業庁

【所管事項説明】

1 三重県病院事業 次期「中期経営計画」の中間案について

I 中期経営計画（中間案）の取りまとめ

令和5年10月6日の医療保健子ども福祉病院常任委員会で素案をお示しした後、津区域および伊勢志摩区域の地域医療構想調整会議において、計画の概要を確認いただき、別冊のとおり中間案を取りまとめました。

II 中期経営計画（中間案）の概要

第1章 総論

第1節 計画策定の背景等

- 1 県立病院改革の経緯（別冊 P1）
- 2 医療政策の動向と公立病院の課題（別冊 P1～）
- 3 県立病院の役割・機能（別冊 P2）

第2節 計画の基本的事項

- 1 計画の策定趣旨・位置づけおよび計画期間（別冊 P2～）
 - ・政策的医療を継続的・安定的に担えるよう中期的な視点に立って策定
 - ・国の公立病院経営強化ガイドラインに基づいた公立病院経営強化プランとして位置づけ、計画期間は令和6年度から令和9年度までの4年間
- 2 計画の進行管理（別冊 P3）

第3節 病院事業のミッションおよび県立病院の基本理念（別冊 P3）

第2章 各病院等の計画

第1節 こころの医療センター

- 1 前中期経営計画期間（H29～R5年度）における成果と残された課題（別冊 P4～）

【成果】

- ・県内の精神科医療における中核病院として、政策的・専門的医療の提供や県内の精神科医療人材の育成に寄与
- ・ユース・メンタルサポートセンターM I Eを設置し、若年層への早期介入・早期予防を実施
- ・入院医療中心から地域生活中心へという方向性の中で、早期退院の促進やデイケアサービス等を実施
- ・新型コロナへの対応では、精神疾患を有する感染患者の受入れと医療人材を派遣

【課題】

- ・精神科医療の中核病院として、政策的・専門的医療の提供や地域の医療機関との連携が引き続き必要
- ・患者の減少傾向が続いていることから、若年層の医療ニーズへの対応として、病棟機能の再編等による患者数の確保が必要
- ・安定的なサービスの提供や持続的な病院運営を行うため、医療従事者の確保と育成が必要
- ・今後の新興感染症の発生・まん延時に対応できるよう平時からの備えが必要
- ・働き方改革に伴い、医療従事者の負担軽減への取組が必要

2 ビジョンおよび経営方針（別冊 P6）

3 地域医療構想等をふまえた役割・機能（別冊 P6～）

- ・病状に応じた治療を行うための病床機能再編のさらなる推進
- ・多職種連携による適切な医療の提供と長期入院患者の退院促進

4 地域包括ケアシステムの構築に向けた役割・機能（別冊 P7）

- ・休日・夜間等における救急患者や病病・病診連携による紹介患者の受入
- ・訪問看護やデイケアサービスなどの地域生活支援の提供
- ・精神疾患等に対する普及啓発や認知症に係る医療・介護の関係者への研修の実施

5 機能分化・連携強化（別冊 P7）

- ・精神科救急医療システムの支援病院として当番病院が対応困難な場合の患者の受入
- ・地域の診療所、福祉施設等からの相談対応や入院加療が必要な患者の受入
- ・身体合併症等を対象とした三重中央医療センターおよび伊勢赤十字病院との連携
- ・思春期以降の患者を対象とした子ども心身発達医療センターとの連携

6 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る主要な取組および数値目標（別冊 P7～）

（1）精神科救急・急性期医療の提供（数値目標：精神科救急患者・緊急対応患者受入件数）

（2）専門的医療の提供

- ① 認知症治療（数値目標：認知症入院患者数）
- ② 依存症治療（数値目標：アルコール依存症入院患者数）
- ③ 若年層への支援と早期介入・早期予防（数値目標：YMS C新規相談件数）
- ④ 災害医療の取組（数値目標：災害訓練実施回数）

（3）地域生活を支えるための支援

- ① デイケアサービス（数値目標：デイケア・ショートケア延べ患者数）
- ② 訪問看護サービス（数値目標：訪問看護延べ患者数）
- ③ 入院患者の退院支援（数値目標：在院3か月以内退院率）

【所管事項説明】

- ④ 関係機関との連携（数値目標：障害福祉サービス事業所等との連携取組件数）
- ⑤ 精神疾患・障がいにかかる普及啓発（数値目標：こころしっとこセミナー開催件数）
- ⑥ 家族支援の充実（数値目標：家族等にむけた研修会の開催件数）

（４）人材育成の充実

- ① 研修医・看護実習生等の受入れ（数値目標：研修医・看護実習生等受入延べ人数）
- ② 職員の育成（数値目標：人材育成研修回数）

（５）業務改善の推進

- ① 危機管理対策（数値目標：危機管理研修等参加率）
- ② 患者満足度の向上（数値目標：患者満足度）

7 医師・看護師の確保と働き方改革（別冊 P14～）

- ・ 医師については、大学医局への継続的な働きかけや自院HP等による公募を実施
- ・ 看護師については、養成機関への訪問や就職説明会を通じた病院のPRを実施するとともに、随時の採用募集により採用機会を拡大
- ・ 医師事務作業補助者の充実や非常勤医師確保による日当直業務の軽減等
- ・ 看護補助者の活用等により負担を軽減するとともに、すべての職員が育児・介護休暇などが取得しやすい勤務環境づくりの推進

8 経営形態の見直し（別冊 P15）

9 新興感染症の発生・まん延時に備えた平時からの取組（別冊 P15）

- ・ 今後の新興感染症に備えた病床の個室化とゾーニングによる病棟運営
- ・ 他の医療機関との取組情報の共有、合同訓練の実施、感染対策物品の備蓄
- ・ 新興感染症発生・まん延時の対応を定めた医療措置協定に基づく対応

10 施設・設備の最適化（別冊 P15～）

11 経営の効率化に向けた主要な取組および数値目標（別冊 P16～）

（数値目標：経常収支比率、医業収支比率、1日平均入院患者数、1日平均外来患者数）

12 点検・評価・公表および住民の理解のための取組等（別冊 P17）

13 財務計画（別冊 P18）

第2節 一志病院

1 前中期経営計画期間（H29～R5年度）における成果と残された課題（別冊 P19）

【成果】

- ・総合診療医の育成拠点として研修医等を受け入れるとともに、プライマリ・ケアエキスパートナースの育成・認証等を通じて医療人材を育成
- ・地域包括ケアシステムの構築に向けて、在宅療養支援や多職種連携、初期救急患者の受入
- ・へき地医療拠点病院として医師派遣により医療過疎地域を支援
- ・新型コロナへの対応では、感染患者や回復患者の受入れ、検査・発熱外来、医療人材派遣、ワクチン接種等を実施

【課題】

- ・プライマリ・ケアを担う人材の確保を図り、地域医療構想をふまえた役割や地域包括ケアシステム構築に向けた役割を果たすことが必要
- ・今後の新興感染症の発生・まん延時に対応できるよう平時からの備えが必要
- ・働き方改革に伴い、医療従事者の負担軽減への取組が必要

2 ビジョンおよび経営方針（別冊 P21）

3 地域医療構想等をふまえた役割・機能（別冊 P21）

- ・一般医療の提供とプライマリ・ケアを実践できる人材の育成
- ・白山・美杉地域における入院機能を有する唯一の医療機関として、初期救急患者の受入や急性期機能を担う医療機関等と連携した幅広い領域の疾患への対応
- ・令和7年に向けて、休止病床（36床）の削減を予定

4 地域包括ケアシステムの構築に向けた役割・機能（別冊 P21～）

- ・通院が困難な患者のための訪問診療、訪問看護等の在宅療養支援
- ・津市の地域包括支援センターと連携した医療・介護・予防等の多職種連携の促進
- ・地域包括ケア病床の活用による在宅復帰支援の充実

5 機能分化・連携強化（別冊 P22）

- ・白山・美杉地域唯一の病院としてプライマリ・ケアの実践や初期救急患者の受入
- ・急性期等の機能を担う三重中央医療センター等との機能分化・連携
- ・津市家庭医療クリニックへの医師派遣による支援

6 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る主要な取組および数値目標（別冊 P22～）

（1）地域医療の推進

- ① 在宅療養支援（数値目標：訪問診療、訪問看護等延べ患者数）

【所管事項説明】

- ② 予防医療（数値目標：住民健診、人間ドック、がん検診、特定保健指導受診者数）
- ③ 救急医療（数値目標：救急患者受入件数）
- ④ 医療過疎地への支援（数値目標：医療過疎地域等への支援件数）
- ⑤ 関係機関との連携（数値目標：多職種連携による取組件数）

（２）人材育成の充実

- ① 地域医療を担う医師の育成（数値目標：研修医・医学生受入延べ人数）
- ② 看護実習生等の受入れ（数値目標：看護実習生等受入延べ人数）
- ③ プライマリ・ケアセンターの運営（数値目標：プライマリ・ケア研修会開催件数）

（３）地域医療に係る研究活動の推進（数値目標：学会、論文等発表件数）

（４）業務改善の推進

- ① 危機管理対策（数値目標：危機管理研修等参加率）
- ② 患者満足度の向上（数値目標：患者満足度）

7 医師・看護師の確保と働き方改革（別冊 P26～）

- ・ 医師については、勤務環境の改善や研修環境のさらなる充実による魅力ある病院づくりを実施するとともに、大学医局への継続的な働きかけや自治医科大学卒業医師の配置を要請
- ・ 看護師等については、病院の特色を生かしたキャリア形成支援や働きやすい職場づくりなどを実施
- ・ 医師事務作業補助者の充実や非常勤医師確保による日当直業務の軽減、オンライン診療の活用範囲拡大の検討
- ・ 看護補助者の活用等により負担を軽減するとともに、すべての職員が育児・介護休暇などが取得しやすい勤務環境づくりの推進

8 経営形態の見直し（別冊 P27）

9 新興感染症の発生・まん延時に備えた平時からの取組（別冊 P27～）

- ・ 他の医療機関との取組情報の共有、合同訓練の実施、感染対策物品の備蓄
- ・ 新興感染症発生・まん延時の対応を定めた医療措置協定に基づく対応

10 施設・設備の最適化（別冊 P28）

11 経営の効率化に向けた主要な取組および数値目標（別冊 P28～）

（数値目標：経常収支比率、医業収支比率、1日平均入院患者数、1日平均外来患者数）

12 点検・評価・公表および住民の理解のための取組等（別冊 P29）

13 財務計画（別冊 P30）

第3節 志摩病院

1 前中期経営計画期間（H29～R5年度）における成果と残された課題（別冊P31～）

【成果】

- ・ 指定管理者との協定に基づく診療機能の段階的な充実
- ・ 地域医療支援病院として地域の医療機関との連携を強化するとともに、へき地医療拠点病院として無医地区への巡回診療を実施
- ・ 診療機能の拡充では、通所リハビリテーション事業を開始し、救急医療については、内科系救急の24時間365日体制の受入体制を維持し、外科系救急では準夜間帯の受入れを拡充
- ・ 新型コロナへの対応では、感染患者の受入れや医療人材派遣、発熱外来、ワクチン接種を実施

【課題】

- ・ 地域の医療ニーズをふまえた診療機能の維持・充実が必要
- ・ 医療機関との連携強化や救急患者の積極的な受入れによる患者数の確保が必要
- ・ 今後の新興感染症の発生・まん延時に対応できるよう平時からの備えが必要
- ・ 医師の時間外労働の上限規制に対応するため、働き方改革の推進が必要

2 ビジョンおよび経営方針（別冊P33）

3 地域医療構想等をふまえた役割・機能（別冊P33）

- ・ 関係機関と連携した二次救急医療や災害医療等を担う急性期病院としての機能
- ・ 地域包括ケア病棟の運用による回復期機能の確保
- ・ 無医地区への巡回診療や代診医の派遣等、へき地医療拠点病院としての役割

4 地域包括ケアシステムの構築に向けた役割・機能（別冊P33～）

- ・ 医師会との連携による多職種での交流会や研修会の開催等による顔の見える関係づくりの推進
- ・ 地域包括ケア病棟を活用した在宅復帰支援や通所リハビリテーション事業等による継続的なケアの展開
- ・ 医師会や消防本部と連携した志摩地域在宅病院連携制度による在宅療養患者の急変時の救急受入
- ・ 在宅療養後方支援病院として、在宅療養患者の急変時の入院受入

5 機能分化・連携強化（別冊P34）

- ・ 地域医療支援病院として一次医療を担う地域の診療所等との病診・病病連携の推進
- ・ 志摩地域唯一の二次救急病院として救急患者を受入れるとともに、受入困難な患者に対しては伊勢赤十字病院等への搬送による連携

【所管事項説明】

6 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る主要な取組および数値目標（別冊 P34～）

（1）地域医療の推進

- ① 入院診療（数値目標：1日平均入院患者数）
- ② 外来診療（数値目標：1日平均外来患者数）
- ③ 救急医療・高度医療（数値目標：1か月平均救急患者数）
- ④ へき地医療（数値目標：間崎島への巡回診療実施回数）
- ⑤ 災害医療（数値目標：災害訓練実施回数）
- ⑥ 多職種連携の推進（数値目標：多職種研修会等実施回数）

（2）人材育成の充実

- ① 研修医の受入（数値目標：初期研修医の受入れ数）
- ② 医療人材の育成（数値目標：実習生の受入れ数）

（3）業務改善の推進

- ① 危機管理対策（数値目標：危機管理研修等参加率）
- ② 患者満足度の向上（数値目標：患者満足度）

7 医師・看護師の確保と働き方改革（別冊 P38～）

- ・ 指定管理者制度導入の利点を生かした関連施設からの派遣
- ・ 大学医局への働きかけや自治医科大学卒業医師の配置要請、医師紹介サイト等の活用による取組の実施
- ・ 医師時間外労働規制へ対応するため「地域医療確保暫定特例水準」を取得（予定）
- ・ 医師事務作業補助者の活用や予定入院患者対応の支援等により医師の負担を軽減
- ・ 看護補助者の活用等の取組により負担軽減を進めるほか、指定管理者独自の奨学金制度を教育機関へPRし、人材を確保
- ・ すべての職員が育児・介護休暇などが取得しやすい勤務環境づくり

8 経営形態の見直し（別冊 P39）

9 新興感染症の発生・まん延時に備えた平時からの取組（別冊 P39～）

- ・ 他の医療機関との取組情報の共有、合同訓練の実施、感染対策物品の備蓄
- ・ 新興感染症発生・まん延時の対応を定めた医療措置協定に基づく対応

10 施設・設備の最適化（別冊 P40）

11 経営の効率化に向けた主要な取組および数値目標（別冊 P40～）

（数値目標：経常収支比率、医業収支比率、1日平均入院患者数、1日平均外来患者数）

12 点検・評価・公表および住民の理解のための取組等（別冊 P41）

13 財務計画（別冊 P42）

【所管事項説明】

第4節 県立病院課

1 前中期経営計画期間（H29～R5年度）における成果と残された課題（別冊P43）

【成果】

- ・県直営の2病院（こころの医療センターおよび一志病院）と県立病院課を合わせた経常収支は、平成30年度を除き黒字を確保
- ・医師の確保については、充足率の目標を達成できなかったが、看護師の確保については、充足率の目標を達成

【課題】

- ・新型コロナ発生以降、3病院とも患者数の減少傾向が続いているため、病院の運営状況の把握・分析と経営面での支援が必要
- ・各病院が安定的・継続的に医療サービスを提供していくためには、医療従事者の確保と、働き方改革の推進による職員の負担軽減が必要

2 各県立病院に対する支援および数値目標（別冊P43～）

- （1）経常収支等の向上に向けた支援（数値目標：経常収支比率、医業収支比率）
- （2）医師・看護師の確保（数値目標：医師充足率、看護師充足率）
- （3）職員の専門性の向上
- （4）患者満足度の向上（数値目標：患者満足度）
- （5）職員満足度の向上
- （6）志摩病院の指定管理者に対する指導・監督等

3 財務計画（別冊P46）

Ⅲ 今後のスケジュール

令和6年3月に県医療保健部が開催予定の地域医療構想調整会議で最終案を確認するとともに、医療保健子ども福祉病院常任委員会において説明します。

なお、最終案では、計画期間中の目標値および財務計画を追記するほか、今後の議論をふまえ、中間案の内容を修正します。